



フェリス女学院大学

Vol. 131
2026 Summer



Campus News Magazine

{ エフ }

フェリス女学院大学の
「今」を伝える広報誌

副専攻
ジェンダーと
キャリア

“こう ありたい”は、
学びの中で見えてくる。

Crosstalk

学びが、わたしの
選択肢を増やした。

[Teacher's EYE～発見! フェリスのこんな先生!]

グローバル教養学部 文化表現学科

船越 理恵准教授

[Ferris Passage～先輩が歩む道]

国際交流学部 国際交流学科 卒業

早川 理子さん

*フェリス生に聞いてみた

*上級生リーダーの活動紹介&募集

*学長Column

*フェリス検定

副専攻

「ジェンダーとキャリア」って、どう学ぶ？

ジェンダーへの視点を育み、キャリア形成に生かす

2つのコースで体系的に学び、
自分らしい生き方を切り拓く

基礎 ジェンダー・スタディーズ・コース

人権・政策・文化・社会保障など
多様な側面からジェンダーを学び、
多様性を尊重できる人材

身につく力

- 現代社会に対する理解力
- 多様性を尊重する視点

「一歩踏み出す
自信が
つきました」

応用 ジェンダー・キャリア・コース

学んだ知識をキャリアへつなげる実践型コース。
女性リーダーやOGとの関わりを通して、
社会で生きる力を育てる。

身につく力

- 次世代にふさわしい新たなリーダーシップ
- 協働して問題を解決する力

知識だけでは終わらない。行動できる自分へ。

コースマップ

こんな人におすすめ

- ☒
- 自分の可能性や視野を広げたい
- ☒
- 自分らしさや多様性に関心がある

ジェンダー・スタディーズ・コース (20単位)

ジェンダー・キャリア・コース (25単位)

基礎科目 (2単位) ★

CLAコア「ジェンダー科目」
(6単位)

発展科目 (4単位) ★

応用科目 (14単位) ★

各学科専門科目
「ジェンダー関連科目」
CLAコア
「ジェンダー科目」

学生リーダー養成 (5単位)

CLAコア
「キャリア科目」
(4単位)CLAコア
「プロジェクト科目」
(1単位) ★

Pickup科目

ジェンダーから学ぶ現代社会

各学科の教員がオムニバス形式で登壇するジェンダー論の入門講義。前半はジェンダーの概念や視点の理解を深め、後半は女性のキャリアに焦点を当てたジェンダー視点による分析を学びます。講義を通じ、現代社会のあらゆる問題を多角的に分析する力を養います。

Pickup科目

地域社会と女性リーダー

多様な分野で活躍する本学OGを含む女性ゲストの経験や実践からリーダーシップを学ぶ授業。チームでの事前準備やリフレクション、ライフストーリーの記録を通じ、自らキャリアへの多様で具体的なイメージを育みます。

Pickup科目

国際政治経済学／グローバル化と労働

グローバル化が国内外の労働環境や人々の働き方、特に女性の活躍と貧困問題に与えた影響を学ぶ授業。現状と課題を理解し、問題克服に向けた改善策を考える力や、自身のバランスの取れたキャリアを形成する力を養います。

Pickup科目

プロジェクトで学ぶ

ジェンダーの視点から様々な職場を訪問・体験し、仕事とキャリアを学ぶ実践型授業。企業や公的機関へのヒアリング・見学、グループディスカッションを通じ、ジェンダー課題に向き合う力や、自らのライフキャリアを主体的に描く力を養います。

フェリスのキャリア形成Step

※あくまで一例です。

1年次

前期「導入ゼミ」を通じて、自己理解を基盤に将来の自分をイメージする時期。キャリアナビに参加して、4年間の学びを計画的に考えていこう。

2年次

学内活動やボランティアなど、大学生生活を充実させて「自分ならではの強み」を育む時期。筆記試験対策など、少しずつ準備を始め、将来の選択肢を広げよう。

3年次

業界・仕事の理解を深める時期。年間50本以上の就職講座をフル活用し、学内合同企業セミナーにも参加して、就活に向けて着実に準備を進めよう。

4年次

就活本番！思うように選考が進まないときは、早めにキャリア支援課に相談しよう。OGの内定報告書や進路データなど、選考のヒントになる貴重な資料も閲覧できる。

キャリアナビ(1・2年次対象)

業界別のキャリアデザインマップを用いて、求められる力や現状を理解し、卒業までの学びを将来に繋げる方法を考える講座。

学内OS(学内合同企業セミナー)

毎年約100社が参加！航空・IT等多多彩な企業がフェリス生限定で説明を行う学内合同企業セミナー。対象は学部1～3年・院1年生。

副専攻
ジェンダーと
キャリア“こうありたい”は、
学びの中で見えてくる。

～将来の正解はひとつじゃない。だからこそ、“考える力”を今～

就職？結婚？働き方？正解がひとつじゃない時代だからこそ、「自分はどうしたい？」を考える力が必要。
フェリスの副専攻「ジェンダーとキャリア」は、そのヒントをくれる学びです。

Crosstalk

学びが、わたしの選択肢を増やした。

関口 洋平 先生
心理コミュニケーション学科
メディア専攻Sさん
文学部
コミュニケーション学科 4年Kさん
文学部
コミュニケーション学科 4年Tさん
文学部
英語英文学科 4年

Q1 「プロジェクトで学ぶ」(2025後期集中講義)を履修したきっかけは？

Tさん 実際にジェンダーを仕事にしている人に直接話を聞けるという点に興味をもち、参加しました。

Sさん ちょうど将来について考え始めていた時期だったので、“ジェンダーを仕事にする”というテーマに惹かれました。

関口先生 実際に話を聞いて、印象に残ったことは？

Kさん 最初からジェンダーを仕事にしようとしていたわけではなく、業務の中でジェンダーの視点を活かしている点が印象に残りました。

Sさん 「かなテラス」では教員経験のある方も働いており、立場や年齢に関係なく意見を伝え合う姿が印象的でした。また当初は、ジェンダーの学びと仕事のつながりがイメージできませんでしたが、実際に話を聞くことで「どの仕事でも大学での学びは生きる」と実感し、将来への不安が和らぎました。

Q2 プロジェクトに参加して変わったことは？

Kさん 日本テレビでのインタビューを通して、日常の言葉や表現の中にジェンダー的な偏りがあることに気づき、ニュースやドラマの見え方が変わりました。身の回りの表現を意識して見るようになったことが大きな変化です。

Tさん 「かなテラス」の取材では、DV被害者等に寄り添う支援が居場所作りに繋がることを実感しました。支援者だけでなく私達もまた、誰もが自分らしく生きられる社会を共に作っていく大切な当事者の一人なのだと感じる機会となりました。

Sさん 企業の方やプロジェクトメンバーと意見を交わすうちに、自身のマイノリティ性や当事者性を隠す必要はないと感じるようになりました。自分一人の問題だと思っていたことが、就業者が働きかけることで、見えていなかった社会課題の発見につながり、マイノリティが可視化されることを学びました。

Q3 履修を検討しているフェリス生へメッセージを！

Tさん 集中講義という堅いイメージがあるかもしれませんが、さまざまな意見を共有しながら学べる授業です。

Sさん 将来についてまだ明確に考えられていない人こそ受けてほしいです。大学での学びが社会につながる実感を持てるとと思います。

Kさん 多くの可能性に気づく機会になるはずです！

Message

関口先生からのメッセージ

もともとジェンダーに関心を持つ学生は多い一方で、その学びをどのように社会で生かすかを考える授業として設計しました。実際に働く方々との出会い、現場の話を聞くことで、学びが広がることを意図しています。働く方々が使命感や思いを持って生き生きと仕事に取り組む姿に、私自身も大きな刺激を受けました。実際に現場とつながり、予期しない出会いや気づきが生まれることを大切にしてほしいと思います。

「プロジェクトで学ぶ(2)」の講義内容

“ジェンダーを仕事にする”をテーマに、社会で働く方々へのインタビューを通して、ジェンダーに関わる仕事や、その仕事に至るまでの歩みについて学ぶ3日間の集中講義です。講義では、日本テレビでジェンダー取材に力を入れているプロデューサーやアナウンサー、藤沢市の男女共同参画センター「かなテラス」の職員、生理用品の企画・販売を行うスタートアップ企業の代表など、多様な立場で活動する方々に話を伺いました。

TEACHER'S EYE

グローバル教養学部
文化表現学科ふなこし
船越 理恵 准教授専門分野: 音楽教育、芸術実践、
アートマネジメント、音楽キャリアデザイン

Profile

上智大学文学部教育学科卒業、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院MBA修了、東京藝術大学大学院博士後期課程修了(学術Ph.D.)。インターネットベンチャーにて広告制作に従事した後、独立。音楽ライター、各大学にて非常勤、アーツカウンシルにおけるプログラムオフィサーを経て現職。

フェリス生へのメッセージ /

何事も経験、
なるようになるから大丈夫!



仙台の七夕祭りにて。その土地ならではの「お祭り」が好きで、色々めぐっています。郷土芸能や地域芸能に心惹かれる部分もありますが、単純に「お祭り」のにぎわいが楽しいです。



専門とされている分野について、
くわしく教えてください。



私の研究的な興味関心が複数の学術領域をまたぐ性質にあるため、ひと口に専門分野をお伝えしづらいのですが、あえて言うならば音楽教育になります。アートマネジメントの理論を援用し、社会とつながる音楽事業づくりについて、ひいてはそれを実現する教育的アプローチや活動支援のあり方に関する研究や実務に取り組んできました。



先生がその分野に興味を持った
きっかけはなんでしょう。

幼少期からピアノを学んできて、さて将来をどうしようかと考えた時に、自分の音楽と社会との繋がりが見出せず、八方塞がりな気持ちになったというのが、根源的なきっかけになっているように思います。そしてそこから、自分の音楽のみならず、広く芸術文化と社会とがどのように接続しうるのかということに興味広がっていきました。



「物語と音楽(1)」(2026年度後期担当科目)では
どのようなことが学べますか。



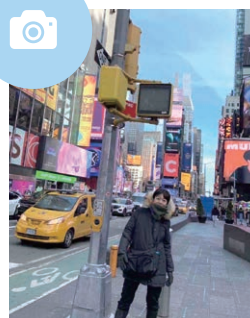
「物語」を通じて信頼や共感を生み出し、ブランドの価値や理念を伝える「ストーリーテリング」が、近年、企業の競争力を高める上で不可欠として注目されているかと思います。この授業では、ストーリーテリングの考え方を理解した上で、音楽ビジネスの広報・PR活動における活用の可能性について、具体的に検討します。



学生時代に熱中していたことを教えてください。
またどんな学生でしたか。



お恥ずかしながら学生時代はモトリアム全開、自分は何をしたいのか、一体自分は何者なのか、常にモヤモヤしており、特段何かに熱中していたとも言えないのですが、でも、外国貧乏旅行は沢山しました。知らない世界に飛び込んで、自分の殻を破りたかったんだと思います。それなりに危ない経験もしたけれど、今となっては良い勉強。



ニューヨークにて。
かのVillage Vanguardで
トーマス・モーガンの演奏を
聴けて感激した夜。ジャズの
聴き方が日本とは異なり、
興味深かったです。



フェリスを卒業した先輩の、学生時代から仕事に就くまでのストーリーと
これからの目標をインタビューしました。フェリス生の励みになりますように。



社内最年少でイタリアへ！ 学びを武器に、 大好きなワインを仕事に

*Profile

エノテカ株式会社

はやかわ りこ
早川 理子 さん

2023年度 国際交流学部 国際交流学科 卒業

卒業後、エノテカ株式会社へ入社し、現在は都内のワインショップで接客・販売を担当しています。社内公募の海外研修にも史上最年少で参加するなど、大学時代に培った“学ぶ姿勢”を強みに、ワインの魅力を伝える仕事に取り組んでいます。



勤務先ではどんなお仕事をしていますか？

ワインショップでお客様の「料理に合うワインがほしい」「プレゼント用を探したい」といったご相談を伺いながら、ぴったりの一本をご提案しています。好みや予算、料理、贈る相手との関係性などを丁寧にお聞きしながら、何百種類ものワインの中から最適な一本を選んでいます。知識だけでなく、コミュニケー



ション力や発想力も求められる仕事ですが、「おいしかった」と言っていた時は本当にうれしく、やりがいを感じます。

また、社内公募の海外研修にも挑戦しました。小論文試験を経て入社2年目の最年少で参加することができ、イタリア各地のワイナリーや畑を訪問し、生産者の方々とも直接交流しました。帰国後は、社内外のセミナーやイベントで発信する機会もあり、自分の言葉で魅力を伝える難しさを実感しています。

大学時代、一番熱中していたことは何ですか？

授業です。特に1・2年生の頃は“フル単”を目指しながら、全授業、最高評価の「S」を取ることに本気でした。先生の話在必死にメモし、自分なりに考えを深めていく時間が楽しく、そんな私を応援してくれる友人にも恵まれ、充実した大学生活を送ることができました。

就職活動では、どんなことを大切にしていましたか？

一番大切にしたのは、自分が楽しめるかどうかです。人生で仕事が占める時間は長いからこそ、大好きな“お酒”の世界へ進むことに決めました。実は、大学院進学と本気で迷った時期もあります。でも、大学で得た学びを「研究」だけで完結させず、リアルな「社会」で試してみたい。その好奇心が、私を就職へと動かししました。今は現場で働くことが最高に充実していますが、学びへの情熱も消えていません。「いつかまた、研究の世界に戻るのもいいな」、そんな風に未来を自由に描けるのも、今の場所です。

「大学時代の経験が生きている」と感じることは？

英語力と、“伝える力”です。特に「英語インテンシブコース」で身につけた英語力は、今も役立っています。海外のお客様も多く、ワインの情報も英語表記が多いため、大学時代の学びが仕事につながっていると感じます。また、レポートや小論文で鍛えられた「わかりやすく伝える力」も大きな武器です。ワインの魅力を専門用語ばかりにならず、お客様に伝える言葉で説明することを大切にしています。

これから挑戦してみたいことや夢は？

仕事で出会ったイタリアのワイナリーに惚れ込み、好きすぎてこの円安の中、自費で現地を訪ねたほど(笑)。今はまだ日本ではマイナーですが、その魅力を広めるのが私の夢。「日本が最大のマーケットだ」と現地の方に喜んでもらえるよう、一人のファンとして、プロとして、精進し続けます！

学生の皆さんへ
Message for you

「私を採用してくれる会社はあるの？」と不安だった私を支えてくれたのはキャリア支援課でした。
一人で悩まず、まずは相談を。大学で培った自信は一生の宝物。
この温かな環境を味方に、自分の可能性を広げてください！



フェリス生に聞いてみた



[みんなで楽しむアンケート]

上級生リーダー編



今号のテーマ

みんなに紹介したい勉強法

勉強がはかどる場所

① 緑園キャンパス 図書館

② 学生ホール



Point!
3、4階の自習エリアは静かで集中できる。机の高さも丁度いいので、長時間座っていても負担が小さい!

おすすめの勉強法

① アプリ活用

② ひたすら書く



●FocusFlight
集中力向上アプリ



●+HOUR(タワー)
時間管理アプリ。自分がどれだけ勉強したのか、今日は何を勉強するのかを管理できる。アプリ利用者の勉強時間等もみれるので、自分も頑張ろうという気持ちで勉強ができる。

Point!

おすすめアイテム

見たいページを開いて
キープできる「ウカムリクリップ」
愛用者も多数いました!

グローバル教養学部 文化表現学科 2年

Kさん

つかえずにサラサラ書けるタイプのルーズリーフ。筆記用具は、持っているだけで気分が上がるように、好きなディズニーキャラクターのペンを使っています!



文学部 コミュニケーション学科 3年

Tさん

推しのファイルです。プリントを出し入れするときに、推しの顔を見ると元気が出ます♡



* 回答していただいたみなさん、ありがとうございました! *

この企画はフェリス生同士の交流が目的です!

この場を借りて、みんなに主張したいことや、周りのフェリス生に聞いてみたいこと、ありませんか?

参加は
2 STEP
で完了!

【STEP1】裏表紙の「次号のテーマ」をCheckして、

【STEP2】QRコードからアンケートに回答!

取りあげてほしいテーマや質問も受付中!

フェリス生同士の交流の場として、ぜひご参加ください。

学生課
Column



新入生の あこがれの先輩になろう

上級生リーダー
って？

4月初旬のオリエンテーション期間を中心に、新入生の不安を解消し、サポートするために2・3・4年生で構成されているフェリスの先輩たちです。新入生が少しでも早く学校に慣れ、楽しく過ごせるように、約4か月の準備や当日の運営をおこないます。
2026年度は、入学前イベントやAsk Us!、Ferris Welcome Dayで活躍しました♪



2026年度上級生リーダーの Voice

みんなで同じ目標に向かって活動することで仲間意識が生まれると感じた。学内でリーダーと会うとすごく嬉しくなるし、安心感がある。このような仲間は大事にしたい。
(コミュニケーション学科 3年)

自分が力を入れたこと、工夫したことを新入生に喜んでもらえたり、楽しんでもらえていることを実感し本当に嬉しかった。活動を通してこれからの自分に活かせるところを沢山見つけることができた。
(日本語日本文学科 3年)

これまで人をまとめるという経験をあまりしてこなかったけれど、私の個性であるフレンドリーさを活かして活動できたことが一番成長した点だと感じた。
(文化表現学科 2年)

活動スケジュール(例)

12月	中旬	キックオフミーティング	上級生リーダー同士の顔合わせ。自己紹介の後、新入生にとってどんなリーダーになりたいか、目標を設定！
1月	中旬	第1回打合せ	限られた時間で意見を出し合い、本番のプログラムを決めていきます。
2月	上旬	第2回打合せ	3月に実施する『Pre』のレクリエーション決め。
	下旬	第3回打合せ 本番	『Pre』のリハーサル！動線確認や時間配分、原稿チェックも念入りに。
	上旬	Pre-Ferris Welcome Day	入学前の新入生交流イベント。新入生が楽しみな気持ちで入学式を迎えられるように、リーダー丸となって盛り上げます！
3月	中旬	第4回打合せ	『Pre』の振り返りを行い、本番に向けて改善点などを見つけます。
	下旬	第5回打合せ	本番に向けた準備も大詰め。これまでの打合せでリーダー同士の仲も深まる時期。
		Ask Us! 本番	新入生からの何でも質問ブース。履修や一人暮らし等について新入生の疑問や不安を解消します。
4月	オリエンテーション期間	最終打合せ(準備)	本番直前。使用教室を装飾した後、全体の流れを最終確認。お揃いのトレーナーを持って万全の準備で新入生を迎えます。
		Ferris Welcome Day 本番	リーダーがナビゲートする新入生オリエンテーション。大学生活の良いスタートダッシュが切れるよう、リーダーが準備を重ねてきたプログラムで不安の解消や友人作りをサポートします。

2027年度上級生リーダー

2026年9月中旬より募集開始予定。詳細はFerrisPassportをチェック！



学生課 山田さん

リーダー同士で協力し、企画・運営力やコミュニケーションスキルを高めよう！仲間とともに試行錯誤する経験は、就活やその後の将来に役立ちます。

こんな学生に手を挙げて欲しい！

イベントの企画・運営に挑戦してみたい／チームワークや対話力・調整力を身につけたい／学年学科を超えた仲間と活動したい／ガクチカをつくりたい／何か新しいことを始めたい

フェリス生に聞いてみた

次号のテーマ

「アルバイト代、何に使ってる？」

投票期間

2026年7月15日(水)～10月23日(金)

次号では、みなさんがアルバイト代を何に使っているのかを紹介します。
みなさんからの投稿をお待ちしています♪



取りあげてほしいテーマや質問も受付中!

この企画で、みんなに主張したいことや、
周りのフェリス生にも聞いてみたいこと、ありませんか?
フェリス生同士の交流の場としての「F」に、
ぜひ参加してください。



アンケートの回答は右記QRコードから!



フェリス検定

緑園キャンパスにある「CLA棟」の「CLA」とは
何の頭文字をとったものでしょうか?

- A** Campus Life Association
- B** Center for the Liberal Arts
- C** Communication and Language Area

Answerは、p7の下にあるよ!

学長 Column



© DAISUKE KOBAYASHI

車のこと

学長

小檜山 ルイ

20歳のとき、振袖は不要だから、免許が欲しいと親に懇願して、多摩川の河川敷の自動車学校に通った。そして、年代物の日産サニーで、横浜から三鷹郊外の大学まで通学。運転はすぐ日常になった。

留学から戻ると、サニーはお払い箱になっていた。国際基督教大学大学院博士後期課程に入って、通うとなると改めて遠い。ある日、無断で父のボルボを拝借。「宝物」を持ち去られた父は、怒り心頭(父は車が大好きで、1960年頃には車を持ち、出かける度にそれに乗せられ車酔いする母と私には大迷惑だった)。運転が下手な娘にまた乗られては大変と、近所のスバルで、軽自動車レックスを買ってくれた。

それから、マツダのファミリア、カペラ、スバルのレガシィ、日産のマーチ、フォルクスワーゲンのポロ、トヨタのプリウスに乗って、ここ10年以上、ホンダのフィットばかり、4台。私にとって車は、小さいこと(大きいとぶつける)と燃費が選択基準。車はただの移動手段——女はその傾向が強いと聞いたことがある。グレードによる種別は、ほとんど分からない。ましてや、エンジン音とか加速とかは、認識の枠外である。ポロは父の車の一台を譲り受けたものの、ハイオクが気に入らなかった。

学長になった時、息子に「学長のくせにフィットなのか?」と問われ、「いいじゃない。」と応じたが、レックスLBXが出た時、近くの販売店に連れて行かれた。即決で購入。小さくて燃費がよく、前任校の退職金があったから。未だにフィットとの違いはわかっていないが、電話を車のスピーカーで受けられるのは便利だと思っている。



“F”はFerris、For Othersを表すFであるとともに、もうひとつFind(=発見)という意味を込めています。
この冊子でお伝えする情報がみなさんの行動のきっかけになり、新しい自分の“発見”につながりますように。

2026.7.10発行
発行／フェリス女学院大学
編集／学生課
〒245-8650 神奈川県横浜市区緑園4-5-3
TEL:045-812-9127

